

SJクイズ ?

[問題編]

Q1

女性が運転する車両*（普通乗用車・軽乗用車）の交通事故（平成21～26年）において死亡および負傷した運転者のシートベルトの非着用割合を年齢層別にみると、次のうちで非着用割合が最も高い年齢層はどれでしょう？

- ① 34歳以下
- ② 35～44歳
- ③ 45～54歳
- ④ 65歳以上



Q2

女性が運転する車両*で死亡および負傷した後席同乗者のシートベルト非着用割合は普通乗用車と軽自動車、どちらが多いでしょう？

- ① 普通自動車
- ② 軽乗用車

Q3

女性が運転する車両*で死亡および負傷した後席同乗者のシートベルト非着用割合を通行目的ごとに比較すると、次の中で非着用割合が最も高い通行目的はどれでしょう？

- ① 買物
- ② 送迎
- ③ 訪問
- ④ 飲食

*第1当事者・第2当事者＝第1当事者は交通事故の当事者のうち過失が最も重い者、又は過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。第2当事者は過失がより軽いか、過失が同程度の場合は被害がより大きい方の当事者。

【使用上の注意】

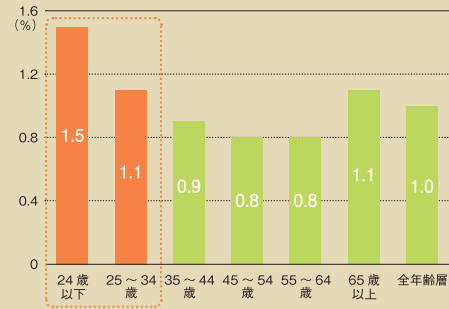
●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

Q1 解答 ① 34歳以下

<解説>

女性が運転する車両（普通乗用車・軽乗用車）の交通事故（平成21～26年）において死亡および負傷した運転者のシートベルト非着用割合を年齢層別にみると、24歳以下（1.5%）および25～34歳（1.1%）となっており、34歳以下が最も高い。また、65歳以上の非着用割合も全年齢を上回っている。若年層の運転者にシートベルト着用の必要性を再認識してもらう必要がある。

グラフ① 運転者年齢層別 シートベルト非着用割合*



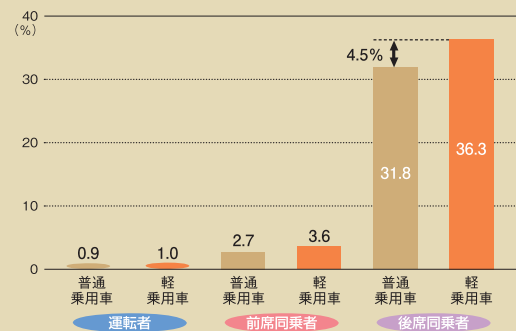
出典：（公財）交通事故総合分析センター資料

Q2 解答 ② 軽乗用車

<解説>

女性が運転する車両で死亡および負傷した後席同乗者のシートベルト非着用割合を普通乗用車・軽乗用車別にみると、軽乗用車のほうが普通乗用車より4.5%高くなっている。女性、軽乗用車に限らず、運転者は後席に同乗者がいる場合、必ずシートベルト着用を呼びかけてほしい。

グラフ② 乗車位置別シートベルト非着用割合*



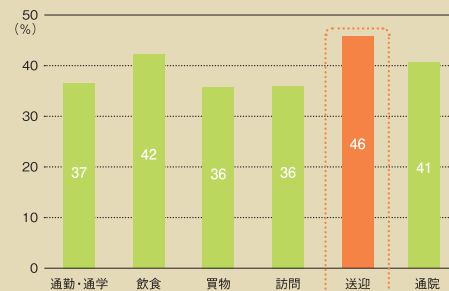
出典：（公財）交通事故総合分析センター資料

Q3 解答 ② 送迎

<解説>

女性が運転する軽乗用車で死亡および負傷した後席同乗者のシートベルト非着用割合を通行目的ごとに比較すると、送迎が46%と最も高い。運転者、同乗者ともに短い移動、短い乗車時間と油断して、シートベルトを着用しないことが考えられる。短時間の移動でも事故に巻き込まれる可能性はある。そうした時に被害を最小限にとどめるためにも、すべての席でシートベルトを着用することが重要である。

グラフ③ 通行目的別 後席同乗者シートベルト非着用割合* (軽乗用車)



出典：（公財）交通事故総合分析センター資料

*グラフ①②③は平成21～26年の交通事故統計データにおいて、女性が運転する車両（普通乗用車および軽乗用車の第1当事者・第2当事者）で、シートベルトを着用していない（チャイルドシート不使用を含む）後席同乗者の死傷者を対象（グラフ②は運転者、前席同乗者も対象）としている。

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

